

## R3-6 打出小槌町 38 番 1 外 共同住宅・店舗

### □ 計画地周辺のまちなみ

打出小槌町は、阪神電鉄打出駅の北西に位置し、北は国道 2 号、南は阪神電鉄に囲まれており、町内の大半の地域においては、一戸建て住宅と共同住宅など多様な規模の住宅がおりあって、落ち着いた雰囲気のマちなみを形成している。また、打出小槌町の西側において市の景観軸である宮川に接するとともに、都市計画道路である鳴尾御影線が町内を東西に貫いており、沿道のケヤキが良好な景観を創出している。

その一方で国道 2 号沿いにおいては、高さのある建築物が多く見られ、幹線道路ということもあり、小中規模の店舗が多く建ち並んでおり、幹線道路の賑やかさと住宅地の落ち着いた雰囲気の 2 面を持ち合わせたまちなみ景観を形成している。国道沿いの緑量は決して多くはないが、道路内に配置された高木と沿道敷地内の樹木が織り成す緑の連続性は、潤いのある通り外観の形成に寄与している。

### □ 計画地の基本条件

計画地は、北側で国道 2 号、東側で幅員約 4 m の市道 1 4 8 号線に接道しており、第 1 種住居地域及び最高高さ制限のない第 3 種高度地区に指定されている。

計画地の西側は 1 2 階建ての共同住宅、東側は市道を挟んで 1 0 階建ての共同住宅、南側は一戸建て住宅が立ち並んでいる。多様な用途及び規模の建物が混在しており、計画地は国道に面しているものの、住宅地と隣接することを意識しつつ周辺のまちなみに配慮した計画が求められる。

また、計画地の北側では、まちなみや緑の連続性を維持するとともに、特に北東角においては、まちかどをつくる意識を持ち、緑豊かな潤いのある通り外観を形成するため、植栽計画に工夫を凝らすことが求められる。

### □ 周辺および地域のコンテキストに基づき配慮すること

- \* 建築物の壁面については、単調にならないよう壁面の目地や仕上げの変化、適切な材料の選択等の工夫により表情を作り、スケール感を軽減するとともに、高さや形状において周辺との調和に配慮することにより、良好なまちなみ形成に寄与する計画とすること。また、北面及び東面については、可能な限り壁面を後退させ、通りへの圧迫感軽減に努めること。
- \* 植栽計画については、国道 2 号に面する北側や北東角など景観上有効な位置に植栽を配置することにより、通りに対して積極的に配慮し、まちなみ景観に寄与する計画とすること。また、植栽時だけでなく、管理面や経年変化した後の景観についても計画時に考慮し、緑豊かでうるおいのある景観が保全、育成していくような植栽計画とすることが望まれる。
- \* 建築物に附属する駐車場、駐輪場、ゴミ置き場、設備等は通りから見えないような配置・規模とすることを基本とし、植栽等による修景に努めること。